

『共生・協働』でまちづくり vol.23

『共生・協働』とは、自治会やNPO法人・ボランティア団体・企業等多様な主体（パートナー）と行政が相互の理解と信頼のもと、目的を共有し、連携・協力して地域の公共的な問題の解決を目指すことです。

曾於市内でも「共生・協働の地域社会づくり」を進めていますが、市民の皆さんにも理解を深めていただくため、地域づくりやボランティアに意欲的に取り組む団体の活動等を紹介します。

「鬼追いの郷」でまちおこし

～ 「古きを温めて 未来を拓く 鬼追いの郷」 ～



末吉深川の熊野神社領域で毎年1月7日、盛大に行われる「奇習鬼追い」は約1250年前から伝わる伝統行事。鬼にたたかれると無病息災・五穀豊穡、鬼が身にまわっている紙の御幣を持ち帰れば厄除けになるといわれており、県無形民族文化財にも指定されています。

この歴史・文化薫る熊野神社周辺の6自治会のみなさんは、一致団結し、深川むらづくり連合会を昭和52年に結成され「古きを温めて 未来を拓く 鬼追いの郷」を掲げ、地域活性化のため道路清掃や河川清掃、花植え等の活動をする中で「奇習鬼追い」の広報PR等に努められております。「鬼追いの郷」では、祭の約1ヶ月前になると神社近くの県道末吉・財部線沿い等に「奉納織旗」を設置。地域全体に祭の厳かな雰囲気が漂います。そして祭の当日は「鬼の出前」としてハーレー会の協力のもと末吉商店街においてパレードをしたり、祭会場では、「鬼ソバ」「鬼しめ」「鬼ぎり」などの手作り料理が振舞われ、沢山の祭客で賑わいます。また、資金調達の一環として、「鬼の手」や「鬼追いキーホルダー」などの商品開発・販売等にも取組まれる等、地域のみなさんで祭を盛り上げるために色々な知恵を出し合い、魅力ある地域づくりを展開されています。

「鬼追いの郷の会」の迫杉雄会長は、『今後も道路整備（道守運動・ふるさと道のサポート）や河川清掃（みんなの水辺サポート）、水土里サークル等の活動の中でさらに地域住民による地域資源を活用した地域づくりを目指し、「鬼追い」「鬼文化」について、幅広く探究・伝承しながら、曾於市の文化的な祭として「日本一 さつまの暴れ鬼」をPRし、「奇習鬼追い」の発展につなげていきたい。』と話されました。

